大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立民族学博物館

関西から文化力

みんぱく公開講演会

毎日新聞夕刊連載コラム「異文化を学ぶ」をもっと学ぼう！

激動するインド世界

人びとの暮らしから読みとく

2009年3月19日[木] 18:30–20:30 [開場17:30]

会場：オーバルホール　定員：400名　参加費：無料

大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社ビルB1

講演内容

【講演1】インド西部の暮らしと信仰－包括と分割のはざまで／三尾　稔（国立民族学博物館 研究戦略センター 准教授）

【講演2】環流する〈インド〉－海外在住インド人のインパクト／杉本 良男（国立民族学博物館 民族社会研究部 教授）

パネルディスカッション／パネリスト：三尾 稔 × 杉本 良男　司会：寺田 吉孝（国立民族学博物館 民族文化研究部 教授）

手話通訳あり

主催：国立民族学博物館・毎日新聞社　後援：在大阪インド総領事館

みんぱく公開講演会

激動するインド世界

人びとの暮らしから読みとく

毎日新聞夕刊連載コラム「異文化を学ぶ」をもっと学ぼう！

ビジネスや国際政治、さらには宗教対立などで世界的な関心の的となっているインド世界について、人びとの日常生活に焦点を当てながら、インド社会の安全を築く糸口を探っていきたい。

プログラム

17:30〜18:30	受 付
18:30〜18:35（5分）	開 会：岸本 卓也/毎日新聞大阪本社編集局長
18:35〜18:40（5分）	挨 拶：松園 万亀雄/国立民族学博物館長
18:40〜19:10（30分）	講 演1「インド西部の暮らしと信仰－包括と分割のはざまで」三尾　稔
19:10〜19:40（30分）	講 演2「環流する〈インド〉－海外在住インド人のインパクト」杉本良男
19:40〜19:55（15分）	休 憩
19:55〜20:30（35分）	パネル・ディスカッション：三尾 稔×杉本 良男（司会:寺田吉孝）

講演1 インド西部の暮らしと信仰 —包括と分割のはざまで

インドの生活に根ざした信仰の世界ではイスラームやヒンドゥーの違いはあいまいになる。教条に拠って宗教的アイデンティティーを自覚し、他との違いを強調する思潮とは無縁の世界であった。その生活世界がアイデンティティー・ポリティクスに侵食されつつある現在、人々はそれにどう対処するのか。またその動きは政治や社会にどのようなうねりを引き起こすのか。インド西部の事例を紹介しながら、考える。

三尾　稔

国立民族学博物館
研究戦略センター 准教授

インド西部を調査地として宗教と社会変容に関する文化人類学的な調査研究を行っている。近年は都市部を中心とした消費社会化が宗教や政治意識に及ぼす影響に関する研究に取り組んでいる。編著に『インド刺繍布のきらめき－バシン・コレクションに見る手仕事の世界』（08年、昭和堂）、共著にPolitical and Social Transformations in North India and Nepal（07年、Manohar）、『現代南アジア⑤社会・文化・ジェンダー』（03年、東京大学出版会）などがある。

講演2 環流する〈インド〉 —海外在住インド人のインパクト

インド社会の急激な変化は、おもに大都市部と海外在住インド人社会をまきこんだうねりとして進行している。アメリカ、イギリスなどの欧米諸国や、湾岸諸国、東南アジアなどにひろがったインド系住民の趣向は国内に還流し、あらたなインド趣味をつくりだしている。グローバル化が進行するなかで、映画、ファッションなど人びとの生活文化がどのように変化し、またナショナリズムの質をどのように変貌させているのか、インド南部の事例を中心に考える。

杉本 良男

国立民族学博物館
民族社会研究部 教授

インド南部、スリランカを調査地として宗教・文化とナショナリズムとの関係について社会人類学的な調査研究を行っている。近年は映画、ファッションなどのポピュラー・カルチャーとナショナリズムとの関係について研究を行っている。著書に『インド映画への招待状』（02年、青弓社）、編著に『宗教と文明化』（02年、ドメス出版）、『キリスト教と文明化の人類学的研究』（06年、国立民族学博物館）などがある。

司会

寺田 吉孝

国立民族学博物館
民族文化研究部 教授

アジアの音楽・芸能文化について民族音楽学の視点から調査研究を行っている。近年はグローバル化と南インド音楽の変容に関する研究に取り組んでいる。編著にMusic and Society in South Asia（08年、国立民族学博物館）、共著に『音楽する身体』（08年、昭和堂）、『日系アメリカ人の歩みと現在』（02年、人文書院）などがある。

参加申込方法

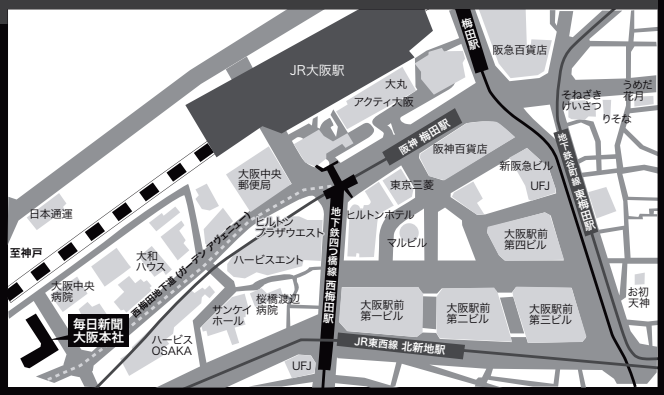
「3月19日講演会参加希望」と明記の上、❶郵便番号、❷住所、❸氏名、❹連絡先電話番号、❺今後の講演会などのご案内送付希望の有無を記載し、ハガキ、FAX、メールにてお申し込みください。2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの方の❶〜❺を必ず明記してください。手話通訳をご希望される方、車椅子をご利用される方は、お席をご用意いたしますのでお申し込みの際に必ずご記入ください。なお、応募者が多数の場合はご参加いただけない場合もあります。2月中旬より順次参加証を発送する予定です。

※参加申込をいただいた方の個人情報は、参加証の発送、次回以降の講演会などのご案内に使用いたします。

手話通訳あり

宛　　先
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10-1
FAX：06-6878-8479
E-mail：koenkai@idc.minpaku.ac.jp

問合せ先
国立民族学博物館
研究協力課研究協力係
TEL：06-6878-8209
URL：http://www.minpaku.ac.jp/



・JR大阪駅（桜橋口）から地下道にて徒歩約8分
・阪神梅田駅・地下鉄西梅田駅から徒歩約8分
※車でのご来場はご遠慮ください

みんぱく携帯サイト

注意事項

・会場には必ず参加証をご持参ください。参加証はお一人様一枚となっております。
・参加証がない方は会場には入れませんのでご注意ください。